

導入検討中の企業様に事前に読んで頂きたい  
**ERPシステム選び9つの確認ポイント**

西部電気工業株式会社  
ソリューションビジネス事業部  
ソフトウェアビジネス部

## ◎目次

- ①自社に必要な機能を整理しておく
- ②必要な機能が分からない時は専門家に相談する
- ③クラウド型かオンプレ型か
- ④現場の利用者が使いやすいUIになっているか確認
- ⑤戦略策定やマーケティングにもデータを活用できるか
- ⑥無料の試用版でトライアルできる製品か
- ⑦将来性・拡張性がありそうな製品か
- ⑧開発元の会社は信頼できる企業であるか
- ⑨導入支援をしてくれる会社は信頼できる企業であるか



## ① 自社に必要な機能を整理しておく

### 財務管理

- 勘定科目表
- 現預金管理
- 一般会計入力伝票
- 予算管理
- 定形仕訳入力伝票
- 固定資産管理
- 債権/債務管理
- プロジェクト会計
- キャッシュフロー予測
- 関連会社間取引
- 原価管理
- 財務諸表作成機能
- 連結会計（単純合算）
- 監査証跡
- 本支店管理
- 2次元OLAP

### 在庫／倉庫管理

- 品目管理
- 在庫予約機能
- 部品表管理
- 入出庫管理
- 複数在庫場所/棚管理
- 収納/ピッキング
- アセンブル管理
- クロスドック機能
- 在庫移動機能
- 棚卸管理
- ロット/シリアル管理
- タイムライン別有効在庫
- 代替品管理
- 商品原価管理
- 在庫再評価管理

### 生産管理

- 製造部品表管理
- 需要予測管理
- 製造能力管理
- MRP/MPS
- 工順/工程管理
- 外注管理
- 製造オーダー管理
- 作業負荷/カレンダー管理
- 製造原価管理

### 販売／購買管理

- 得意先管理
- 仕入先管理
- 直送機能
- 受発注管理
- 納期回答
- 価格管理
- 購買計画立案
- 入出荷管理
- 複数納品場所管理
- 自動発注
- 返品管理
- 諸掛配賦機能

ERP製品といっても、機能フル装備のものから、限定的な利用を想定したライトなものまで様々です。

ムダな機能を多く有するオーバースペックな製品を選んでしまうと、製品の料金を始め、その教育コスト、そして長期的な運用コストに至るまで「**必要以上の高い買い物**」になってしまいます。一方で、ライトなツールは比較的に拡張性に乏しいため、**導入後に機能不足に気づいた場合に致命的**です。

このようなトラブルを避けるためにも、自社にはどのような機能が必要であるか、また今後どのような機能を使いたいかの観点で、**要件を整理しておくこと**が極めて重要です。

Dynamics365 business central 主要機能一覧(抜粋)

## ②必要な機能が分からない時は専門家に相談する

自社に必要な機能が分からない、特に今後必要となりそうな機能、当面は不要な機能が分からない、という方は、ERPに詳しい専門家に相談すると良いでしょう。

ここで重要であるのは、専門家と言っても製品や機能に詳しい専門家ではなく、他社の導入事例について詳しい方に相談することです。導入事例を多数知っているということは、導入後のユーザーの満足／不満足を知っているということですので、後から振り返って必要だった機能、不要だった機能の知見を活用させてもらいましょう。



必要な機能を専門家に相談

## ③クラウド型かオンプレ型か



世の中の主流としては「クラウド型」を採用する企業が急激に増えて来ています。これは、標準化された優れた機能を、すぐに使え、保守・アップグレード費用が含まれるなど、QCDの観点から利点が多いためです。

利用するユーザーのライセンス数を月単位で管理できる製品も多く、スモールスタートができるため、初めてERPシステムを導入する、という企業はまずは「クラウド型」を採用するのが良いでしょう。

## ④現場の利用者が使いやすいUIになっているか確認

ERPシステムは、多くの現場担当者の利用が想定されます。例え機能が豊富、コスパも最高の製品を導入しても、**日々の使い勝手が悪ければ現場担当者の大きな不満**となるだけでなく、**利用サイクルを考えると長期間その苦行に耐え続けること**になります。

ERPシステム検討時には、機能面やコスト面だけでなく、**使いやすいそうか、親しみやすそうか、という観点でもしっかり評価**しましょう。**現場担当者を交えた製品デモや説明会を実施**するのも得策です。



使いやすさも重要な検討要素



## ⑤ 戦略策定やマーケティングにもデータを活用できるか



EPRデータの活用も視野に

ERPと言えば、経営や経理財務部門での利用を想像する方が多いと思いますが、データドリブンの戦略策定やマーケティング施策にも、ERPのデータ活用は不可欠な時代になってきました。

どのような顧客層に、どのようなソリューションが売れているのか、過去のデータを分析して、未来の戦略・戦術に落とし込めるよう、必要なデータを特定してユーザーごとに限定されたデータの活用ができるかどうかについて確認しておきましょう。



## ⑦ 将来性・拡張性がありそうな製品か



ERPを運用していく中でも、**新たな税制対応をはじめ、各種法対応が求められる**ことも多くあります。

クラウド型の場合は、先回りして機能が開発・実装され、特定の期間で比較的スムーズに移行できるでしょう。オンプレ型の場合もバージョンアップ作業を行うことでそれらは可能です。

他にも、拡張性の観点でも、親会社などより大規模な他製品と連携できるか、AIやBIなど機能的な拡張が可能かどうかなども確認しておくとい良いでしょう。

## ⑧ 開発元の会社は信頼できる企業であるか

ERPには漏洩が許されない極めて重要な情報が無数に蓄積されるものですので、セキュリティは常に万全な対策が求められます。

セキュリティ対策は、特にクラウド型の製品・モバイル対応製品においては24時間365日、脆弱性についての監視や対策を打っていかなければなりません。勿論、開発元には莫大な維持費がかかります。

それだけの維持費を捻出できている体力のある企業であるか、またそれらの日々の活動はしっかりなされているかの観点でも評価をすべきでしょう。



セキュリティに積極投資している信頼できる企業



## ⑨導入支援をしてくれる会社は信頼できる企業であるか



導入支援企業は実績の有無を確認

ERPを導入する際には、導入支援でサポートしてくれる企業についても確認しておきましょう。

特に重視すべき点は、**導入支援の実績があるかどうか**と、**自社の要望をしっかりと真摯に聞いてくる担当者かどうか**という点です。

よくある残念なケースとしては、**要望をよく聞いてもらえず、画一的な初期設定だけで終わってしまった**というケース。このようにならないためにも、**実績と真摯さはしっかりと確認**

# 中小企業向けのERPならお任せください



## 10年以上の豊富な導入実績 多くのお客様から支持されています

(旧製品名 Dynamics NAV)

当社は、2009年から「Dynamics **365** Business Central」を国内企業向けに開発導入を手掛け、国内企業向けの導入実績はパシフィックビジネスコンサルティング社に次ぎ、大手飲食チェーン、EC販売、建機リース、食品製造等、多様な業種への導入実績とサポートを通して、多くのノウハウを蓄積しています。



## 各種システム導入から運用保守まで トータルサービスをご提供いたします

ERP導入だけではなく、連携製品の導入支援や現場情報をIOTを使っての実績投入の自動化、基幹業務の運用開始後のシステム保守・ヘルプデスク・システム監視まで様々なサービスを一気通貫で提供しています。



# ERP導入を検討中の企業担当者様 『無料相談』をぜひご活用ください



ERPについてのお困り、疑問など、お気軽にご相談ください。  
ERPの専門チームが、お悩みをお伺いします。

お申し込みはこちらから



# 会社概要



会社名称	西部電気工業株式会社
設立年月日	昭和22年7月3日
本社	〒812-8565 福岡市博多区博多駅東3丁目7番1号
資本金	16億円
売上高	568億円(連結)／489億円(単体) ※2020年3月期
従業員数	1,250人(連結)／928人(単体) ※2020年3月期
支社	福岡・長崎・熊本・鹿児島
支店等	北九州・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島・沖縄・東京・大阪





<https://www.seibu-denki.co.jp/solution/erp/>

